

# 給食について

保育園では、給食の時間は(楽しく、おいしい時間)であるために、素材選びやメニューを工夫しています。魚料理や和食を取り入れ、なるべく地元の食材を使用しています。食事の基本的なマナーや正しい食習慣を身に付け、楽しんで食事ができるよう心がけています。



- 1、お弁当箱は、アルミ製、ステンレス製のものが使いやすいようです。プラスチック製の場合は、冬季はお弁当を温めますので、耐熱性の物がいいかと思えます。また、お弁当用のバンドもご用意ください。お弁当は、布製の袋に入れてください。
- 2、お弁当には、ご飯をお願いします。のり、ふりかけ等ご飯の上にかけるものはご遠慮ください。
- 3、箸、スプーンにつきましては、各組によって対応が違いますので、担任の保育士の説明をお聞きください。
- 4、ご飯の量は個人差もありますが、保育園に慣れるまでは少な目でいいと思います。徐々に担任の保育士と相談しながら加減していければと思います。
- 5、お弁当箱、コップ、スプーン等は、常に清潔を心がけ、毎日きれいに洗淨してお子様に持たせてください。
- 6、お子様の極端な偏食、嫌いな食材等、食事のことでお困りの方は事前に保育園にご連絡ください。保育園では、無理強いをせず、ゆっくりと楽しみながら解決していくことを目標にしています。集団生活の中で、食事のマナーを学んでいけるようご家庭と協力していきたいと思えます。





# 給食担当者からのお願い



## 離乳食について

ご家庭で3回食になってからを目安にし、おやつからスタートします。様子を見ながら保護者の方と相談し、給食が始まります。なお、食材については食事調査票で確認を取りながら進めます。

- 1、卵、牛乳、魚などアレルギーがあるのでご家庭のほうでもお子様の様子に気をつけましょう。
- 2、発育について不安なことや、聞きたいこと、分からない事がありましたら、遠慮なく保育士、調理師にお尋ねください。

## アレルギーのお子様について

保育園では、食べ物のアレルギー(卵、牛乳、そば、魚類など)をお持ちのお子様の除去食(医師の指示によるもの)を行っております。

除去食が必要であると判断された場合は…

- 1、主治医による症状の確認書(年1回又は症状が変わった場合)
- 2、主治医によるアレルギーの原因となる食材リスト
- 3、緊急時の連絡先(病院名、主治医名)
- 4、医師からの緊急時の対応の仕方

以上の書類が必要となります。

また、入園してからアレルギーの疑いがある場合、担任の保育士に連絡のうえ、早急に医師の診断を受けてください。保育園では、医師との連絡をとりながら、治療の状態、保護者との話し合いをかかさずに、できる限り協力していきたいと思っています。ご理解とご協力をお願いいたします。詳しいことは保育園の方にご連絡ください。